

## 2014年 ホンダロジスティクス様 お取引先懇談会 Honda グループの社会貢献／障がい者雇用への取り組み

(掲題イベントにおいて、Honda 様の特例子会社であるホンダ太陽株式会社様と共に、弊社・進和学園の取り組みを発表させて頂く機会を頂戴しました。以下、当日の発表内容を取り纏めご参考に供します)

- ・日時 : 2014年3月14日(金) 14:00~17:30頃
- ・場所 : 東京マリオットホテル(東京品川)
- ・参加 : 株式会社ホンダロジスティクス様お取引先 約75社

株式会社研進の出縄でございます。  
本日は、このような晴れ舞台にお招き頂き、大変光栄に存じます。  
弊社は、神奈川県平塚市にあります社会福祉法人進和学園の営業窓口会社でございます。進和学園は、私の祖父の自宅を開放して56年前、昭和33年に知的障害をお持ちの児童達40名の施設としてスタート致しました。民間の福祉施設でございます。  
現在、お陰様で約500名の障害者の方々にご利用頂いております。進和学園という名称ですが、今は、児童部はなくなり、養護学校を卒業された18~19歳の若者から、ご高齢の方は最高齢94歳まで、幅広くご利用頂いております。

仕事の中心は、本田技研工業様よりご発注頂いている自動車部品の組立作業でございます。こちらの写真の福祉工場「しんわルネッサンス」を拠点として、連携福祉施設を含め約130名がホンダ車部品の仕事に従事しております。ホンダ様とお揃いの白い伝統あるユニフォームを着用して働けることが、私共の喜びであり誇りとなっております。

### ホンダロジスティクス様お取引先懇談会 2014. 3. 14



### Hondaグループ様との連携 ~障がい者福祉をリード!

Honda様と共に40年!  
ハンデを乗り越え、  
働く喜び・役立つ喜びを  
追求!

実は、私の父が、元ホンダマンとしてホンダ様に大変お世話になりました。創業者の本田宗一郎様はじめ当時のホンダ・トップの方々の絶大なるご支持の下、ホンダ様の仕事を受注したのが昭和49年、1974年ですので、ホンダ様とのお取引は今年で40年目の節目を迎えます。  
永年に亘る、本田技研工業様並びにホンダ・グループ各社様の温かいご支援ご指導に心より感謝申し上げます。本日は、進和学園のメンバーも同席させて頂いております。せっかくの機会ですので一言ずつご挨拶させて頂きます。

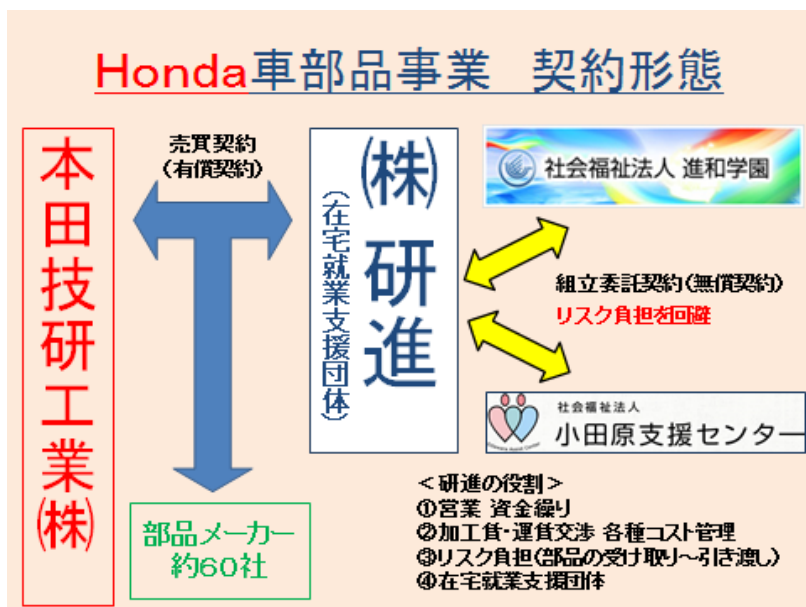
まずは、障害というハンデを乗り越えて、しっかり働いて頂いている代表のお二人です。

女性のリーダー格として活躍している金子さんです。……

男性従業員のエース井上さんです。……

そして、コーディネート・支援する立場となりますが、進和学園の職員として尽力している堀尾です。……

最後に、研進スタッフの石井です。以下、石井がプレゼンターを務めさせていただきます。……



こちらが、私共のホンダ車部品事業の契約形態です。

ホンダ様からご発注頂いた部品組立の作業は、研進が仲介して社会福祉法人進和学園及び社会福祉法人小田原支援センターに所属する知的障害・精神障害のある方々が行い大変貴重な「仕事」となっております。

株式会社研進は、「本田技研工業」様と「進和学園」を繋ぐ会社として、一文字づつを頂戴し命名され、営業・資金繰り・リスク負担等、いわゆる商社機能を担っております。

## 工程管理と品質保証

ISO9001 認証取得 ～ 知的障がい部門 福祉工場 日本初! ～

独自開発の治工具 (組付・検査) ～ ハンデを克服する創意工夫 ～

バッテリー・プレート・セット

ウォーター・バルブ

サブ・フレーム

ブレーキ・ホース

ヒーター・バルブ

現在、バッテリー・プレート・セットやサブ・フレーム、ブレーキ・ホース等、様々な部品の小組立を行い、ホンダ様の埼玉・鈴鹿・浜松製作所様に納品しております。

障害というハンデを克服するために独自開発の治工具を駆使し、工程管理と品質保証に全力を挙げて取り組んで参りました。2007年には、ISO9001認証も取得しました。知的障害部門の福祉工場において、障害者を含めて全員で取得したのは、日本初のケースとなります。



## Honda様による福祉施設への仕事のご発注



自動車部品 組立業務  
世界も注目するHonda様 & 進和学園  
先進的連携モデル  
(JICA視察団 2013年7月)



進和学園が農家と一緒  
に育てた野菜を、社員食  
堂で召し上げて頂いて  
います。

進和学園が栽培した  
苗木を小川工場-寄居  
工場にご利用頂いて  
います。

進和学園のクッキー  
を様々な場面でご利  
用頂いています。

ホンダ様は、本日、ご一緒させて頂いております。ホンダ太陽様という特例子会社を早期に立ち上げられ、障害者の直接雇用において先進的な取り組みをされています。国が定めた障害者の法定雇用率を達成することに加えまして、私共のような福祉施設で働く障害者にも仕事をご発注頂いている訳です。自動車部品以外にも、進和学園の手作りクッキーを、ホンダ開発様を通じて、社内売店や贈答用としてご利用頂いております。また、障害者が栽培した植樹用の苗木をご購入の上、小川、寄居工場に植えて頂きました。更に、進和学園が農家と一緒に育てた野菜を、社員食堂でのイベント時に昼食用食材としてご利用頂いております。

これらの実績は、「企業」と「福祉」の連携好事例として高く評価されております。左の写真は、昨年7月、国際協力機構JICAのご視察団をお迎えし、海外の皆様にもホンダ車部品事業をご案内した際のもので、新聞報道によっても紹介されました。

## Hondaイズム「人間尊重」の実践

授産施設に仕事を発注することは、企業の社会的責任であると思う。

当社と進和学園との付き合いは、昭和48年に始まっています。当社では、通常外部に発注する場合、品質、納期、価格について厳格な取引をしております。精神障害者授産施設だからといって特別な許しはしません。進和学園も、この点については充分に理解され、立上りの苦労はあったものの、努力と工夫で見事克服され、以後順調に仕事を続けておられます。発注する企業の側にも、受注する施設の側にも、諸々の制約や事情があり、お互いに相手を理解し、尊重することにより始めて、納得のゆくいい仕事ができるのだと思います。  
★本田技研工業株式会社 副社長 西田通弘氏

「HANDICAPPED PERSON」 - 1978昭和53年 -  
(発行：全国社会福祉協議会・授産施設協議会)



西田 通弘 氏 (右) 副社長 西田 通弘 氏 (右)

1974年11月 Honda様トップご視察  
企業の社会的責任(CSR)



2013年7月 埼玉製作所様ご視察

左の記事をご覧ください。1978年に全国社会福祉協議会が発行した、企業に対して福祉施設への発注を呼び掛けるパンフレットからの抜粋です。

ホンダ様における進和学園への発注事例を紹介しています。当時、副社長でいらした西田通弘様による「授産施設に仕事を発注することは、企業の社会的責任であると思う」というコメントが40年近く前のものであることに驚かされます。

「Hondaイズム」、とりわけ「人間尊重」という企業理念は、障害者福祉分野でも実践され脈々と継承されていることに感銘を覚えると共に、深い敬意を表する次第です。

## 障害者雇用納付金制度 (障害者雇用促進法)

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

↓ (特例調整金の支給)

本田技研工業(株) (企業)

↓ (仕事の発注)

(株) 研進 (在宅就業支援団体)

↓ (仕事の発注)

社会福祉法人進和学園 / 社会福祉法人小田原支援センター  
(福祉施設利用者: 障害者)

2006年、厚生労働省は、障害者雇用促進法の中で、自宅や福祉施設で働く障害者に仕事を発注することを奨励する制度を設けました。障害をお持ちの方々が受け取った工賃実績に依じて、「障害者雇用納付金制度」において「特例調整金」という助成金がホンダ様に支給されることとなり、2008年度から毎年、本制度の対象となっております。

永年に亘り、ホンダ様が私共のような福祉施設に仕事をご発注頂いている実績が、社会的にも正当に評価される制度が導入されましたことは、大変意義深いものであり私共も嬉しく思います。私共は、このような制度を、今後更に拡充して行くことを行政に提言しております。

私達が組立てた部品は、ホンダロジスティクス様に輸送及び納入代行をお願いしており、日頃より大変お世話になっております。

日常業務を超えて、社長の永井様はじめ社員の皆様との交流も年々深まっています。

ホンダエクスプレス様、光明様の時代から途絶えることなく続けて頂いております、クリスマスプレゼントのご寄贈は、「今年もクリスマスが来たね！」と障害をお持ちの方が言葉にするほど、進和学園の毎年の楽しみとなっています。



障害者？ 健常者？ 訓練生？ 労働者？  
私達は、皆、働く仲間です！  
～ 生き甲斐・働き甲斐を目指して！～



株式会社 研進 & 社会福祉法人 進和学園  
<http://www.kenshin-c.co.jp/>  
<http://www.shinwa-gakuen.or.jp/>

以上で、私共のプレゼンテーションを終えたいと思います。

障害者の直接雇用のみならず、福祉的就労分野にも貴重な仕事をご提供頂き、温かいご支援を頂いているホンダ・グループの皆様重ねて感謝申し上げます。

私達は、これからも、皆様のご期待に沿いお役に立てるよう、働く者としての人権を尊重し、皆が働く仲間として生き甲斐・働き甲斐に満ちた人間らしい仕事を通じて、挑戦して参ります。

今後とも、宜しくお願い申し上げます。どうも有難うございました。

以上